

1. 科目名 (単位数)	情報と職業 (2 単位)	3. 科目番号	EDIT1302
2. 授業担当教員	鈴木 茂樹		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	コンピュータやインターネットの利用は、現代の生活において必要不可欠である。それは、日常生活のみならず、ビジネス環境にも大きな変化をもたらしている。情報に関する学習において、コンピュータやネットワークの仕組みや操作を理解することも重要であるが、それらが社会やビジネスでどのように使われているのかを理解することも重要である。本講義では、情報化により、私たちの生活がどう変わったのか、また、どのようにビジネスに活用されているのかを、事例を通して考えていく。		
8. 学習目標	コンピュータやインターネットを活用することで、どんなビジネスが可能になったのかを理解して、情報社会で生きるための知識と考え方を身につけることが本講義の目標である。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回、授業時間外の作業が必要な課題を課す。 ・講義内容に関する記述式の問題		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 駒谷昇一 他『情報と職業 (改訂 2 版)』オーム社、2002。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業で扱う情報と職業に関する内容について理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章で、自分の考えを述べられるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%		
12. 受講生への メッセージ	わからないことはそのままにせず、調べる・人に聞くなどすること。質問はいつでも気軽にしてくれて構わない。電子メール：shsuzuki@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
13. オフィスアワー	授業内にて周知する。在室中は、来客のない限りいつでも対応する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (講義概要、学習目標、評価を確認する) 情報社会と情報システムの定義を確認し、インフラとして使われる情報システムについて学修する。	事前学習	教科書 pp.1~14 を読む。
		事後学習	教科書 p.21 問 1 を解く。
第 2 回	行政の情報サービス 行政の情報サービスによるメリット・デメリットについて学修する。	事前学習	教科書 pp.15~21 を読む。
		事後学習	教科書 p.21 問 2 を解く。
第 3 回	企業による情報の活用事例 POS、CRM、CTI 情報システムを活用した企業の変化を学修する。	事前学習	教科書 pp.23~43 を読む。
		事後学習	教科書 p.54 問 1 を解く。
第 4 回	ビジネス環境の変化と情報ビジネス 情報技術が発達したことによるビジネス環境の変化を学修する。	事前学習	教科書 pp.44~54 を読む。
		事後学習	教科書 p.54 問 2 を解く。
第 5 回	様々な分野で活用される情報システム 製造業などの業務が情報化によってどう変化したかを学修する。	事前学習	教科書 pp.55~82 を読む。
		事後学習	各業種の情報システムの特徴をまとめる。
第 6 回	企業経営における情報システム 企業経営の道具として情報システムがどう使われてきたかを学修する。	事前学習	教科書 pp. 82~93 を読む。
		事後学習	教科書 p.98 問 1 を解く。
第 7 回	インターネットビジネス インターネットを使う比較的新しいビジネスについて学修する。	事前学習	教科書 pp.99~116 を読む。
		事後学習	教科書 p.120 問 2 を解く。
第 8 回	シェアリングサービス：スキルシェア 新しい職業：フリーランス 情報技術の発展によって浸透した新しいサービスや働き方について学修する。	事前学習	シェアリングサービスとは何か調べておく。
		事後学習	講義で学んだビジネスの特徴をまとめる。
第 9 回	学術機関におけるインターネットの活用 大学における情報技術活用の事例とその効果について学修する。	事前学習	教科書 pp.94~98、pp.117~120 を読む。
		事後学習	大学におけるネット活用事例と効果をまとめる。
第 10 回	働く環境と労働観の変化 情報社会の新しい働き方や労働観を確認し、過去の労働観との違いを学修する。	事前学習	教科書 pp.121~140 を読む。
		事後学習	教科書 p.141 演習問題を解く。
第 11 回	情報通信の関係する犯罪と法制度 インターネットの浸透によって登場した新しい犯罪とそれに対する法制度の現状について学修する。	事前学習	教科書 pp.143~161 を読む。
		事後学習	教科書 p.171 問 1、3、4 を解く。

第 1 2 回	情報社会におけるセキュリティ対策の基本事項	事前学習	教科書 pp.161～170 を読む。
		事後学習	教科書 p.171 問 2 を解く。
第 1 3 回	情報社会におけるリスクマネジメント	事前学習	教科書 pp.173～186 を読む。
		事後学習	教科書 p.186 演習問題を解く。
第 1 4 回	今後の情報社会	事前学習	教科書 pp.187～197 を読む。
		事後学習	教科書の内容と現在の状況を比較しまとめる。 また、今後どのような変化が起こるか考える。
第 1 5 回	講義のまとめ	事前学習	本講義の学習内容を復習する。
		事後学習	我々の生活とコンピュータ利用の今後について考える。